

I 主題名・内容項目・教材名

主題名 誠実な生き方  
 内容項目 正直, 誠実  
 教材名 手品師  
 (新・みんなの道徳5年「学研教育みらい」令和3年度版)

<授業の見どころ>

手品師の思いを子どもたち自身で議論しながら主価値を把握し、自分の心に偽りのない生き方を話し合っていきます。

II 主題設定の理由

1 主題について

- 子どもたちは、明るく活動的であり、困っている友達に優しく手助けをしたり、委員会や係活動などに前向きに取り組んだりする姿が多く見られる。また、多くの子どもたちは自分の良心に従って判断することの大切さに気付いている。

しかし、実際の生活場面になると、「廊下を走らない」「掃除を真面目にする」「人の話をきちんと聞く」「人の嫌がる事をしない」など、わかっているのに、自分の言ったことを守っていなかったり、楽な方を選んだりしている。友だちの行動や考えに左右されたり、自分に都合が悪くなると、うそをついたりすることもある。「ぼくだけじゃない」と他の人のせいにして、その場しのぎの言い訳を考えてごまかしたり、いい加減に謝ってその場を収めようとするということも少なくない。そのような言動が、いやな自分につながっていくことにはあまり意識がない。

そこで、このような子どもたちの価値意識をさらに高め、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事にも真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を送るために、自分や他に対して誠実に行動することが自分の生活をよりよくすることに気付き、その誠実さを自分の内面に満たすだけでなく、外に向けて発揮することの大切さを実感できるようにしていきたい。

- 高学年の内容項目「A2 正直, 誠実」の第5学年及び第6学年の内容は、「誠実に、明るい心で生活すること」であり、第1学年及び第2学年の内容「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること」、第3学年及び第4学年の内容「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」を受けた内容項目である。

本主題は、偽りなく真面目に真心を込めて、明るい心で楽しく生活することに関する内容項目である。「正直」とは、自分の心に嘘や偽りがなく、晴れやかで清々しい気持ちでいることであり、「誠実」とは、良心に従って自分で決めたことに対し真心を尽くそうとすることである。そのために、自分の気持ちに偽りのないようにし、真面目に真心を込めて明るく生活するように心掛けることが大切である。相手の信頼を失わないためにも自分自身に対する真面目さ誠実さ、心の明るさが必要である。

しかし、時として自分の心の弱さから、ごまかしたり言い逃れをしたりして、真心をもって行動できないことがある。このことは形の上では相手に対する嘘やごまかし、裏切りとして表れるが、実は自分自身をも裏切ることになるのである。つまり、誠実さに欠ける行為は他者の信頼を失うばかりでなく、自分自身に対しての後ろめたさや後悔、自責の念、強い良心の呵責を感じることとなり、誇りや自信を失うことに繋がると考える。誠実に生きることは自己を向上させることにつながるとともに、他者や集団とともに明るく楽しい生活を送ることができるようになるために欠かせないものである。

したがって、このような学びの文脈を生かし、自分の良心に忠実に従いながら常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てることは大変意義深いことであると考えられる。

よって、本主題のもと、一人一人の誰に対しても誠実に接することを大切にしながら、その心情から得られる心の安定と満足感によって、本当に明るい心で生活することの大切さに気付かせたい。

- 本教材は、いつかは大劇場のステージに立てる日を願って日々腕を磨いている、売れない手品師の話である。手品師は、働きに行っている母親を寂しそうに待っている男の子に手品を見せ、元気付けてやった。男の子の嬉しそうな表情を見て、手品師は「明日も今日と同じ場所で手品を見せること」を約束する。その晩、友人から連絡が入り、代役として大舞台のマジックショーへの出場依頼を持ち掛けられる。そのマジックショーは、男の子と約束した日の話であった。手品師にとっては思ってもないビッグチャンスである。しかし、手品師は男の子に手品を見せる方を選択する。手品師が自分の心向き合せて、自分にとって大切なことは何か、その気持ちに至るまでの葛藤を感じながら、誠実で偽りのない生き方についての心情を育むことに適した教材となっている。

2 学びの文脈に基づいた指導の構想図

A 主として自分自身に関すること 2 正直, 誠実

誠実に, 明るい心で生活すること

道徳性の諸様相

道徳的判断力	道徳的心情	道徳的実践意欲と態度
良心に従い真心を尽くすための感じ方・考え方を自分自身に置き換えて善悪を判断し, 誠実に明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	自分の良心に従って自分で決めたことに対し真心を尽し, 誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。	自分の良心に従って自分で決めたことに対し真心を尽し, 誰に対しても誠実に明るい心で生活しようとする態度を養う。

<目指す子ども像>

- ・自分の気持ちに偽りなく, 何事に対しても真面目に真心を込めて, 明るく楽しい生活を心掛ける子ども。
- ・自分の良心に従って自分で決めたことに真心を尽くし, 誰に対しても誠実に明るい心で生活する子ども。

復興教育との関連

- **いきる「①価値ある自分」**  
よりよい生き方とは何かを考えたことを通して, 自分のよさや可能性を実感し, 生活に生かしていく。
- **かかわる「⑨仲間とのつながり」**  
他者と話し合うことを通して, 誠実に接することを大切にしながら, 本当に明るい心で生活しようとする心情を人とのかかわりを深めていく。

他教科・領域等

- ・ **社会科「自動車の生産にはげむ人々」(10月)**  
自動車生産に関わる人々の優れた製品を生産しようと直向きに努力し工夫しようする心を理解しようとする。
- ・ **行事「全校音楽集会」(11月)**  
自分の心に偽りなく, 最高の発表ができるように努力し, 真面目に取り組もうとする態度を養う。
- ・ **国語「大造じいさんとガン」(2月)**  
仲間を助けようとして傷付いたガンに対して, 卑怯なまねをせず, 傷付いたところを助け, 傷を治して放った大造じいさんの誠実な行動を理解しようとする。

『正直, 誠実』道徳的心情(9月) 教材名「手品師」  
自分の良心に誠実な生き方とは何かを考え, 常に誠実に行動し, 明るい生活をしようとする心情を育てる。

他教科・領域等

- ・ **総合・行事「林間学校を成功させよう」(6月)**  
嘘をついたりごまかしたりせず, 友達と進んで協力し, 真心を込めて共に活動しようとする態度を養う。
- ・ **社会科「米づくりのさかんな地域」(7月)**  
農業に携わる人々が, お米を真面目に真心込めて作ろうとする思いや努力を理解しようとする態度を養う。
- ・ **社会科「水産業のさかんな地域」(8月)**  
水産業に携わる人々の工夫や努力から感じ取れる誠実な行為を理解し, その働き方を表現することができる。
- ・ **体験「異年齢活動」(通年)**  
縦割り仲間同士で, 嘘をついたりごまかしたりせず, 約束事を守って関わろうとする態度を養う。

感じ方・考え方を働かせるポイント

- 「正直, 誠実」に関わる多面的・多角的な考え方  
自分の良心に従い, 真心を尽くそうとする視点で「相手に思いやりの心で接しようとする心」や「自分で決めたことに素直に従おうとする心」のように道徳的価値について多面的・多角的に捉え, 誠実に明るい心で接するための感じ方・考え方を追求, 感得, 理解するために話し合う。
- 「正直, 誠実」に関わる自己の生き方を考え, 深める。  
「正直, 誠実」について自分の考えをまとめ, 今までの生活を振り返ったり, これからの生き方を考えたりする。

願い

- ・ 真面目さを前向きに受け止め, 明るい心で生活してほしい。
- ・ 自分の良心に従い, 真心に接する心地よさを実感できる機会を作っていきたい。

教科の力

- もち合わせている知識や経験をつないで発表できる子どもが多い。
- 自分の考えを素直に伝えることができる子どもが多い。
- ▲ 自分の考えを簡潔にまとめ, 相手に伝わるような話し方が苦手な子どもが数名いる。
- ▲ 学んできたこと(価値)に対して, 人間の弱さや自己の弱さを表出し, よりよい生き方を追求するための話合いの充実がさらに必要である。

子どもの実態

### 3 本時の指導構想

○ 本時では、良心に従って自分で決めたことに対し真心を尽くそうとする気持ちについての感じ方・考え方を話し合う学習を通して、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとするのがよりよい生き方なのかを考えながら、心情を育てていく。

○ 指導にあたっては、次の二点に留意する。

#### 多様な考えに触れながら、自分の考えを明確にする話し合い活動【手立て1】

##### ① 多様な感じ方・考え方を働かせながら自分の考えを広げるための発問

まず、葛藤場面で、仲の良い友人から、大劇場への出演を誘われた時の手品師の考えについて、自分なりの考えを話し合う。

次に、大劇場に行くか約束を守るかを選択する手品師の感じ方・考え方をとらえるため、その理由を出し合う。「男の子のことを不幸に思い、期待を裏切れない」と思いや、自分の夢を叶えたいという手品師の願い、「誘ってくれた友人に申し訳ない」という気遣いの心と多様な感じ方・考え方を共有する。その際、「大劇場への出演を考えた人は、どんな理由がありますか」と問い返ししながら、手品師が葛藤する心情に納得できるよう、表出していく。自我関与するためにも、経験や体験を想起させながら、子ども一人一人の学びの文脈を捉え、自分自身の価値意識と比較させるための促しや補助発問を投げ、子どもの発言をつなげ、感じ方・考え方を広げていく。

##### ② 多様な考えからねらいに迫るための話し合いの組織化

中心発問では、「手品師は、どんな気持ちや考えから『ぼくにとっては大切な約束なんだ』と言って、きっぱり断ったのでしょうか」と問い、自分の良心に従い男の子との約束を選択する行為に至った判断理由や気持ちの変化を中心に話し合う。子どもたちの考えには、「自分を待っている男の子を裏切ることにはできない」という約束を守ろうとする責任感、「売れて有名になっても、一生後悔するかもしれない。」という後悔したくない気持ち、そして、男の子のことを考え、「友情より大切な約束を優先したい。」という真心、「約束を破れば、男の子だけでなく自分自身にも嘘をつくことになる。」という誠意、と多様である。ここで、主人公が何を最終的な判断理由として、ねらいとする行為に至ったか、根拠を焦点化していくために、まず、「約束を守ろうとする責任感」と「後悔したくない気持ち」、「男の子のことを思いやる心」の対立軸で、理由や根拠を表出するよう働きかける。次に、約束を優先しようとする手品師の心情を、「約束はそれほど大切なのか」、「不幸な子どもでない約束を守らなくてよいのだろうか」と切り返し、主人公が男の子のことを思う自分の心に素直に従い、迷いに迷った上で納得し判断した誠実さを浮き彫りにしていく。

そして、十分に深まったところで、「手品師は、どんな生き方を大事にしているでしょう。」と、問い返し、男の子のことを思い、素直に従った手品師の誠意に気付かせていきたい。

全校研究とのかかわり「えらび」

#### よりよい生き方を目指した問題場面での話し合い活動【手立て2】

価値の主体化の段階で、自分自身の価値意識を見つめ直す発問と時間を設定する。まず、迷いながらも、人のことを考えて、よいと思って実行できたことに、どんなことがありますか。」と問い、自己の経験や体験と結び付け、価値ある行為を振り返り、価値付けて支援する。その後、主人公の生き方を視点に、再度、話し合い、今後出会うであろう状況において必要となってくる感じ方・考え方を深めるために、「学んだことを生かして、どんな生活ができそうですか。」と促してグループで交流し、実現していこうとする身構えを育てていく。

全校研究とのかかわり「つかう」

### Ⅲ 本時の指導

#### 1 ねらい

○ 自分の良心に誠実な生き方とは何かを考え、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

#### 2 見取りの視点

① 手品師の心の葛藤や動揺、それを乗り越えて決断するときの気持ちを理解しようとしているか。【発言】

② 自己を振り返り、良心に従って決めた主人公の考えにふれ、誠実に生きていこうとする希望をもとうとしているか。【発言】

#### <特に個に応じた支援が必要な児童への手立て>

- ・ アンケート結果に基づいた実態把握と、日常生活の観察による「正直、誠実」の内容項目に係る自己肯定感が低い子どもへの意図的指名や指導内容に準じた促し、発言内容の位置付けを図る。

3 展開の概要

段階	時間	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	研究にかかわる手立て(◆)	指導上の留意点(・)【評価】
問題の把握	5	<b>1 「誠実」であることについて話し合う。</b> <input type="checkbox"/> 「誠実な人」とは、どんな人のことを思い浮かべますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真面目な人のことを言う。</li> <li>・ 相手に対して、うそをつかない人のことを言う。</li> <li>・ 自分の言ったことを守る人のことを言う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねらう価値について、直接問い、個々がもち合わせている捉えを表出させ、問題解決的に追求ための意識付けを図る。</li> </ul>
	6	<b>2 教材を読んで感想を発表し、話し合いの方向をつかむ。</b> <input type="checkbox"/> このお話を聞いて、手品師のことをどう思いましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ せっかくのチャンスを捨ててまで約束を守ってえらいと思った。</li> <li>・ 男の子のことを考えて断ったのでとてもやさしい。</li> <li>・ 大劇場へ行かず、男の子との約束を守ったところがすごいと思った。</li> </ul>		
問題の分析・追求	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大劇場へ行かず、男の子との約束を守った手品師はどんな気持ちだったのでしょうか。</div>				
	12	<b>3 仲の良い友人から、大劇場への出演を誘われた時の手品師の考えについて話し合う。</b> <input type="checkbox"/> 仲の良い友人から誘われたとき、手品師はどんなことを考えたでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やっと自分の夢が叶えられるし、貧しい生活からも離れられる。</li> <li>・ 約束もあるが、劇場にも出たい。</li> <li>・ せっかく誘ってくれた友人に申しわけない。</li> <li>・ 男の子のことを悲しませたくない。</li> <li>・ 男の子の明るく顔が見たい。</li> <li>・ 男の子からの期待を裏切れない。</li> </ul>	<b>◆ &lt;手立て1&gt;</b> <b>多様な考えに触れながら、自分の考えを明確にする話し合い活動</b> <b>① 多様な感じ方・考え方を働かせながら自分の考えを広げるための発問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「大劇場への出演を考えた人は、どんな理由がありますか」と問い返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大劇場に行くか約束を守るかを選択し、その理由を出し合わせることで、よりよく明るい生活を送るために必要な感じ方・考え方を引き出す。割り切れない気持ちや理由も大切に扱う。</li> <li>・ 自分とのかかわりを深めながら考えさせるために、行為のもととなる理由を発表させる。</li> <li>・ 大劇場を選んでも、自分で納得した選択であるなら否定されるものではないことを、確認する。</li> <li>・ 手品師が、自分の良心に従い男の子との約束を選択する行為に至った判断理由や気持ちの変化を中心に話し合う。</li> <li>・ 男の子を思う自分の心(良心)に素直に従い、迷いに迷った上で納得して判断した手品師の誠実さを共感させたい。</li> <li>・ 関連価値と主価値からの発言を結び付け、相手を思いやり役割を自覚したりして真心を込めた行いができるのは、誰でも持っている誠実さによるものであることを理解させたい。</li> </ul> <b>【見取り】発言内容</b> 手品師の心の葛藤や動揺、それを乗り越えて決断するときの気持ちを理解しようとしている。
価値の感得・理解	12	<b>4 手品師が男の子との約束を選んだ時の気持ちについて話し合う。</b> <input checked="" type="checkbox"/> 手品師は、どんな気持ちや考えから「ぼくにとっては大切な約束なんだ。」と言って、きっぱり断ったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分を待っている男の子を裏切ることではできない。</li> <li>・ もし売れて有名になっても、一生後悔するかもしれない。</li> <li>・ 男の子のことを考えると、今は友人との友情より大切な約束を優先したい。</li> <li>・ 約束を破れば、男の子だけでなく自分自身にも嘘をつくことになる。</li> </ul>	<b>② 多様な考えからねらいに迫るための話し合いの組織化</b> まず、同質異根拠の視点で子どもの感じ方・考え方を抽出する。次に、同質の根拠を深めていく。(つなぎ合わせていくための補助発問) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約束はそれほど大切なのか。</li> <li>・ 不幸な子どもでないと約束を守らなくてよいのだろうか。</li> <li>・ 「手品師は、どんな生き方を大事にしているでしょう。」と、切り返し発問する。 →【えらぶ】</li> </ul>	
価値の主体化	10	<b>5 学んだことをもとに、自己を見つめ直す。</b> <input type="checkbox"/> 迷いながらも、人のことを考えて、よいと思って実行できたことに、どんなことがありましたか。  <input type="checkbox"/> 「誠実に生きる」ということについて、今の自分の生活に生かせそうなことにどんなことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お金を拾って交番に届けたこと</li> <li>・ 友達から借りたゲームを壊したので、すぐに謝ったこと</li> <li>・ バスの中で人の服に靴の泥をつけた。相手は気付かなかったけど、すぐに謝ったこと。</li> <li>・ 自分自身に嘘をつかず、後悔しない生き方を生かしていきたい。</li> <li>・ 相手に対しても、自分に対しても誠実に生きて、自分で決めたことをしっかり向き合って生活することを生かしていきたい。</li> <li>・ 自分は、思わず嘘をついたり、ごまかしてしまったりするところもある。もしかしたら、そのことで後悔することがあるかもしれない。今、自分が「これがよいこと」と感じたのは、素直に行動に表したい。</li> </ul>	<b>◆ &lt;手立て2&gt;</b> <b>よりよい生き方を目指した問題場面での話し合い活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主人公の生き方を視点に、再度、話し合い、今後出会うであろう状況において必要となってくる感じ方・考え方を深める。 →【つかう】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の経験を振り返ったり、学んだことやこれから生かしていきたいことを考えたりしながら、個々の感じ方や考え方の違いを明確にする。</li> </ul> <b>【見取り】発言内容</b> 自分も主人公と同じように行動できたことを振り返ったり、今の自分の価値意識でどんなことができそうかを考えたりしている。

